



建学の精神である「感恩奉仕」にもとづいた 少人数教育が特徴！

- ★学科を超えて学生同士や教職員との距離が近い少人数教育
- ★一人ひとりの学生のニーズを大事にした寄り添った支援
- ★障がいのある人たちとの交流の機会が充実している環境
- ★学生、教職員みんなが親切で手を取り合ったアットホームな雰囲気



このようなルーテルのよさを活かして、障がいのある人たちが主体性を持った支援を一緒に考える

手話サロン

～音のない世界に触れてみよう～

- 1 活動日時/場所 毎週火曜日 18:15～19:30/学内教室
- 2 参加者 学生（他大学からも参加）、教員、一般のろう・難聴者
- 3 活動内容 ①手話の単語や文法の学習 ②ゲーム ③ろう文化やろうの歴史の学習 ④手話学習の番組を観る
- 4 特色 ①手話やろう文化を楽しく学ぶ ②各回の内容を参加者が自由に企画・進行（一般のろうの方が行うこともあり）
③和気あいあいとした雰囲気での活動



手話カフェ

手話サロンの学生が企画・運営！

- 1 活動年月/場所 2015・2016年3月/学内ラウンジ
- 2 参加者 学生（他大学からも参加）、教職員、一般のろう者
- 3 活動内容 ①より初歩的な手話を学ぶ（挨拶、自己紹介、指文字等）②カフェのようにお菓子や飲み物を広げて行う。
- 4 特色 ①手話サロンの学生が企画・運営 ②手話サロンに来られない教職員も参加 ③毎年1回の手話の学習と交流の場

課外講座

「手話と聾文化」～地域の人と共に学ぶ～

- 1 開催年月/場所 2016年11～12月に全4回/学内教室
- 2 講座内容 「音のない世界と手話」「手話を学ぶということ」「手話通訳者という仕事」「大学における手話通訳」
- 3 特色 ①学生が司会、受付、会場設営等を担当 ②地域の聴覚障害者、手話関係者、学校関係者等の一般参加が毎回60名を超えた ③手話に関わる問題を地域の方々と共に考えた

これまでの活動を通して...
どう成長できたか？
これからの課題は？



発表者：村里栞（心理臨床学科3年） 松本そら（心理臨床学科2年）
坂口裕俊（サポートルーム職員） 佐々木順二（心理臨床学科教員）
協力者：岡田みずほ（心理臨床学科3年・手話サロン代表）・手話サロン参加メンバー
お問い合わせ先：九州ルーテル学院大学 障がい学生サポートルーム
TEL：096-341-1168 FAX：096-343-0354 E-mail：support@klc.ac.jp